2-④ 下水道施設のストックマネジメント及び耐震化・耐水化の推進について

防災・減災及び経済成長に資する社会資本整備の促進について

東広島市の現状と課題・取組状況

○全下水道施設を対象としたストックマネジメント計画を令和元年度に策定し、令和2年度には実施設計を、令和3年度からは計画に基づき、更新工事を実施している。

○下水道処理施設の耐震化率は71.1%であり、耐震基準を満たしていない全ての施設の耐震化を継続して実施する。

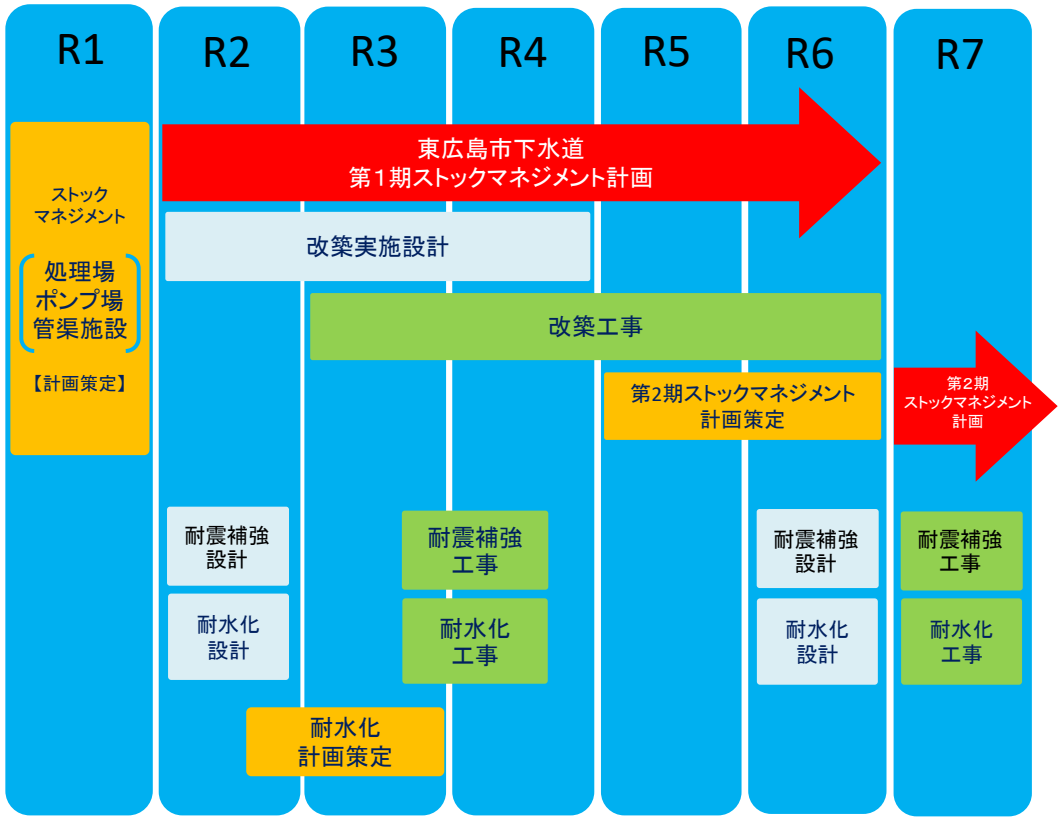
○洪水等において浸水する可能性がある施設については、令和3年度に策定した耐水化計画に基づき、耐水化工事を継続して実施する。

（例）【東広島浄化センターの現況】

受変電設備
（耐用年数20年を超過）

老朽化に伴う故障により、受変電設備の停止を懸念

ポンプの軸受・ケーシングが腐食

平成30年7月豪雨による被災（扉破損）

【ストックマネジメント計画スケジュール】